

令和 6 年度 大学活性化経費 事業成果報告書

事業区分 (6) その他、大学の活性化に貢献する取り組み

申請組織 キャリア育成センター

申請組織長 役職名 キャリア育成センター長 氏名 長澤 唯史

統括責任者 役職名 キャリア支援課長 氏名 北島 和徳

課題名 公務員 2 次試験対策講座の実施

	役 割	氏 名	所属・役職名	役割分担
	統括責任	北島 和徳	キャリア支援課課長	企画・運営
事業組織		青木 貴美江 森部 峻平	キャリア支援課主任 事務職員	企画・運営 企画・運営マネジメント

1. 事業開始の背景・経緯や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

公務員予備校等へ通わず、独学で公務員就職を目指す学生を対象に、独学での対策が難しい面接対策や小論文対策について、試験直前期に学内にて公務員予備校の専門家による指導を実施することで、公務員合格者数を向上させることを目的とする。

また、2024 年度入学学生より企業経営専攻と公共政策専攻の 2 専攻制が始まる現代マネジメント学部において、公共政策専攻を選択した学生の想定される進路の一つである、公務員就職へのサポートをより充実させることも目的の一つである。

2. 事業方法（特色・独創性）等 (300 字程度で記述)

この講座では、公務員試験直前期に、学内において公務員予備校の専門家から面接対策や小論文対策についての講義を短期集中で受けられる点が特色である。

さらに、ただ講義を受けるだけでなく、講義の内容を踏まえ実際に実践する場を設けた点も本講座の特色である。具体的には講義内容を踏まえ小論文を作成し、講師による添削指導を実施したり、講師との 1 対 1 での模擬面接を実施したりした。

また、本講座の受講料を無料とすることにより、金銭的な理由で公務員予備校に通えない学生も、公務員予備校の専門家から 2 次試験対策の指導を受けることが可能となった。

3. 事業の成果（600 字～800 字程度で記述）

これまでキャリア支援課では、公務員ガイダンスや公務員合格者体験報告会等の、公務員就職への関心や理解を促すためのイベントは実施してきたが、具体的な試験対策は実施できていなかった。今回本講座の実施により、公務員就職に関して公務員という職業についての紹介から、実際の試験対策までの一貫した支援を行えるようになった。

今回の公務員 2 次試験対策講座の募集に対して 33 名の学生からの申し込みがあった。（内 2 名は後日辞退）これは当初定員として設定した 30 名を上回る結果であり、学生の公務員試験に対するに関心の高さを反映するものとなった。また、3 年生だけでなく、2 年生の学生からの申し込みも 6 名あり、低年次の学生も公務員試験に対して関心を持っていることが確認できた。学生からは本講座に関して、公務員予備校の専門家から自分の小論文について添削を受けることが出来、具体的な改善点を知ることができた、講義内で公務員面接にてチェックされているポイントを教えていただき参考になった、時事問題についての講義で情報収集の大切さを知り、普段からニュースや新聞を注意して見るようになったといったといった声が聞かれた。

今後、2 月末に予定している最終講義が終了し次第、講座全体に対するアンケートを実施し、本格的な効果測定を実施する予定である。また、これから春、夏にかけて公務員試験が本格化してくるが、受講生の進路を確認・検証し、本講座の効果測定を行い、公務員試験対策のさらなる支援の充実を目指す。

4. キーワード（本事業のキーワードを 1 つ以上 8 つ以内で記載）

①就職試験対策	②公務員	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

5. 事業の達成状況及び今後の課題（事業の達成状況を踏まえて、課題、反省点、及び今後の取組みを具体的に記載すること。）

今年度は 31 名（内 3 年生 25 名）の学生が本講座を受講した。講座の内容は 1 日 2 コマの講義を 12 月に 1 日、2 月に 4 日実施した。またその他に講義内での小論文の作成、及び講師による添削、講義とは別に講師との 1 時間の模擬面接を行った。今年度のスケジュール、内容について、学生によるアンケート結果を集計し改善点等検証したい。実際の公務員試験は春から夏にかけて実施されるため、受講者の公務員試験の合格状況等を確認し、当初の目的の一つである公務員合格者数の向上に繋がったか検証していきたい。